

髪もふさふさ！不老長寿薬として広まった

ツルドクダミ (タデ科)



Polygonum multiflorum Thunberg

部位	塊根
生薬名	何首烏 (カシュウ) 局方収載
成分	エモジン、クリソファノール (アントラキノン) スチルベン配糖体
薬理	整腸 (緩下) 作用、血糖降下作用
薬能	補血薬、滋陰薬
漢方	当帰飲子

中国原産のつる性の多年草。八代将軍吉宗により不老長寿薬として何首烏 (カシュウ) という名前の植物を中国より取り寄せて栽培させたとされています。その後、野生化し日本の各地で見ることができます。葉の形状がドクダミに似ていることが名前の由来ですが、タデ科の植物です。世界各地の不老長寿薬には緩下作用を有するものが多くあります。また、育毛作用もブームとなり、現在も多くの育毛剤に配合されています。一方、本植物の塊根を何首烏と呼び、補血薬や滋陰 (潤いをあたえる) 薬として、カサカサに乾燥したかゆい皮膚病に用いられる当帰飲子 (トウキインシ) などの漢方薬に配合されています。生薬の名前の由来については諸説ありますが、何 (カ) という人が愛用し、髪 (首から上) が鳥のように真っ黒になったという説があります。

アマハステビア (キク科)

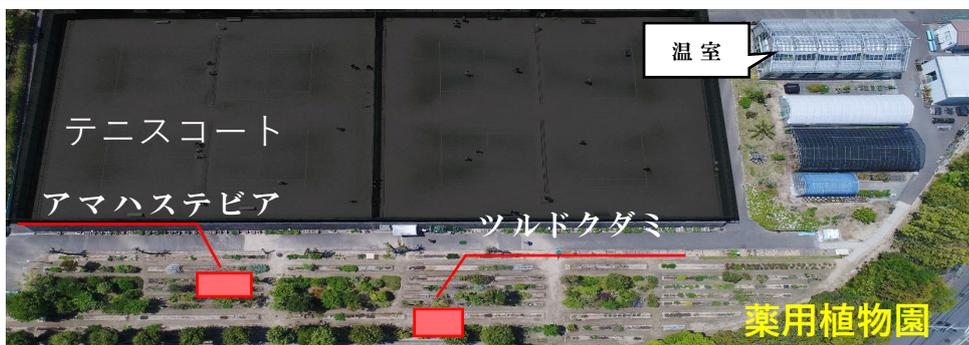
爽やかな甘味！甘味成分は砂糖の300倍甘い?!

Stevia rebaudiana (Bertoni) Bertoni



部位	茎および葉
成分	ステビオシド、レバウジオシドA、レバウジオシドC (ジテルペン配糖体、甘味成分)
用途	甘味料
薬理	血糖降下作用、血圧降下作用
漢方	使用されない

パラグアイ原産の多年草。学名の属名をそのまま和名にしています。ステビアと呼ばれることもあります。日本へは1970年に甘味料の製造原料として導入され栽培されています。寒さに弱いのですが当園ではマルチングなどにより保温を行い露地栽培でも越冬できています。自家不和合の特性があり、種子が付きにくいので挿し木で増やします。日本ではステビアを食品添加物として公式に認めています。アメリカや韓国などの他の多くの国では、食品安全性基準の観点から公式な食品添加物として認められていない様です。しかし、ダイエットサプリメントとしては広く使用されています。薬用植物園にお越しになって葉を1枚かじってみませんか？



ホームページでも
ご覧いただけます